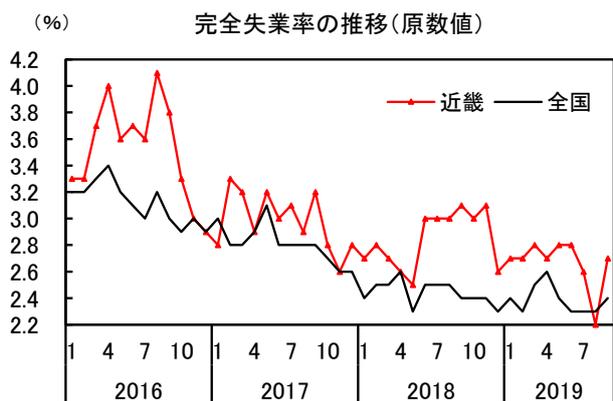
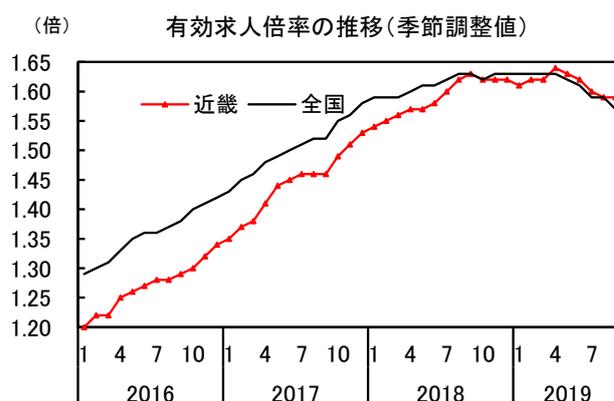


## 関西の景気ピックス【雇用関連（19年9月）】

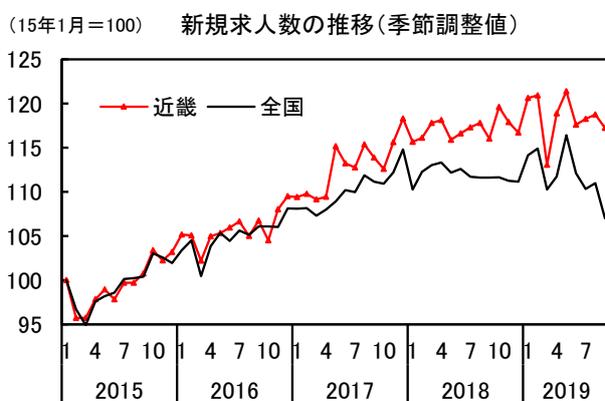
- 19年9月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は2.7%（原数値）と、前年比で0.4ポイントの低下となった。前年を下回るのは4か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で21万人増えたほか、失業者は3万人減った。また、非労働力人口も19万人の減少となった。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、19年8月は1.59倍（季節調整値）と前月比で横ばいとなった。依然として水準は高いものの、19年4月に1.64倍でピークとなった後、5か月で0.05ポイント低下している。
- 近畿の失業率は低い水準が続き、有効求人倍率の水準も依然として高いなど、雇用情勢は概ね堅調に推移している。ただし、賃金の推移は力強さに欠けるほか、求人倍率もこのところ緩やかに低下しつつあるなど、今後の推移については予断が許されない。



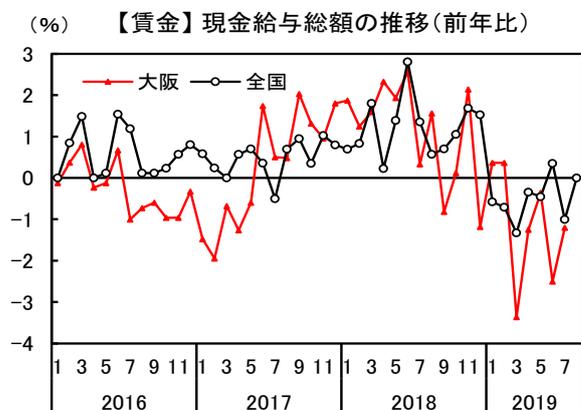
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※大阪の19年6、7月データは実数の前年比。それ以外は指数の前年比

本件照会先:大阪本社 荒木秀之  
TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp